

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(10歳代女性)(第33週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は21例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(40歳代男性1例)ありました。症状は意識障害、肺炎です。感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は18例となりました。
- 百日咳の報告が3例(10歳未満男性2例及び10歳代女性1例)ありました。本年の累積報告数は37例となりました。

◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、半期ごとのAIDS患者・HIV感染者数を公表しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数21例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 18例】
- 五類:百日咳 3例【1月以降の累積報告数 37例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

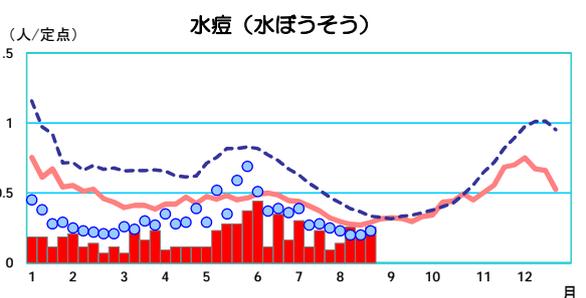
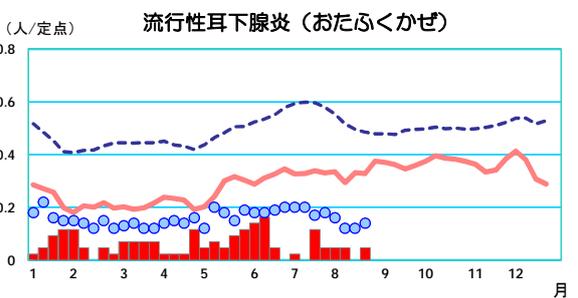
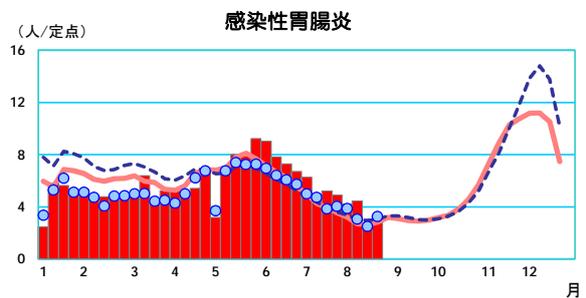
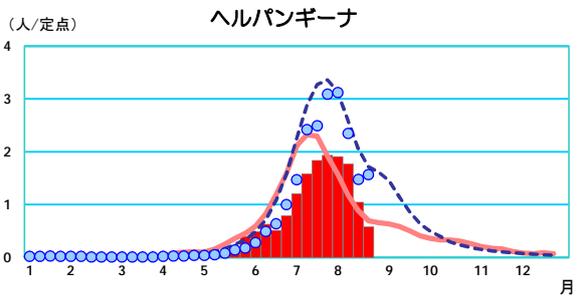
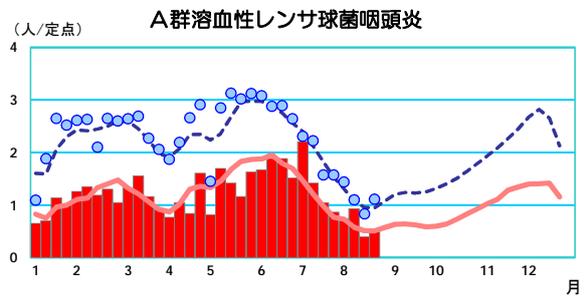
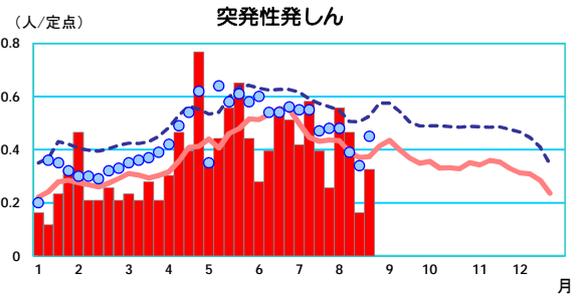
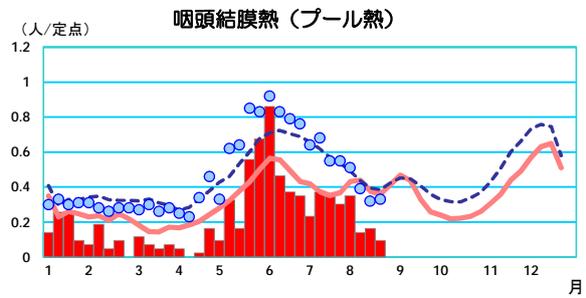
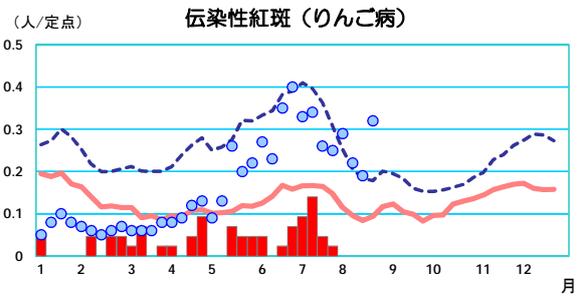
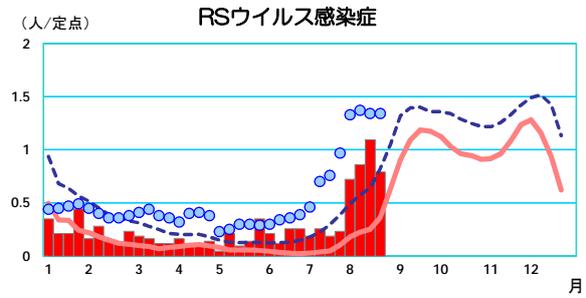
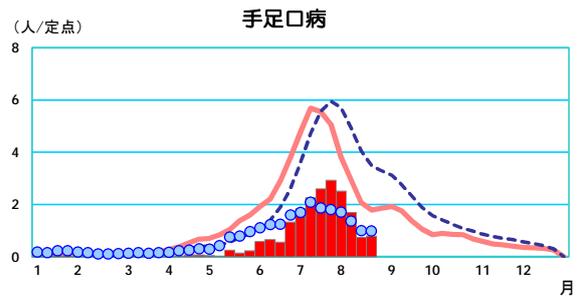
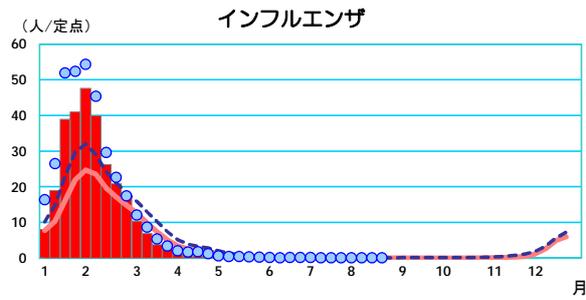
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.19	137
	② RSウイルス感染症	0.79	34
	② 手足口病	0.79	34
	④ ヘルパンギーナ	0.58	25
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	23
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成30年8月29日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第34週(8月20日～8月26日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、半期ごとのAIDS患者・HIV感染者数を公表しています。本市では、平成30年1月から6月までの間、AIDS患者* 1例、HIV感染者** 4例の計5例の報告がありました。(平成30年8月31日公表 下記URL参照)

昭和62年以降の累積報告数は326例(AIDS患者 108例(33.1%), HIV感染者218例(66.9%))となっています(表1)。推定感染経路では、性行為感染が252例で、全体の77.3%を占めています(図1)。特に、同性間の性行為感染が147例と最も多く、全体の45.1%を占めています。診断時の年齢階級別では、20歳代～30歳代の若年層が約6割を占めています(図2)。

HIVに感染すると、感染初期にウイルス量が急激に増加した後、一旦減り、無症状期(数年～10年程度)を経て、AIDS発症期に至ります。HIVウイルス量の増加に伴い、免疫細胞の数が減り、最終的に免疫不全状態となります。

HIV感染症は、適切な治療によりAIDSの発症を抑えることができることから、AIDSを発症する前にHIV感染を早期発見することが重要です。早期発見により感染の拡大防止に結びつくことから、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用してください。また、不特定多数の人と性的接触をしない、性行為時には必ずコンドームをつけるなど、予防を心がけましょう。

* AIDS患者 : AIDSと診断されて発症が届けられたもの(すでにHIV感染者として報告されているものがAIDSを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)

** HIV感染者 : HIVに感染し、無症候性キャリアとして報告されたもの、または何らかの症状はあるがAIDSの診断基準を満たさないもの

【エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者数について(京都市広報資料)】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/36-1-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

【京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変えました。)】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

表1 年次別報告数の推移(京都市)

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
昭和62年～平成25年	257	83	174	238	19
平成26年	15	4	11	12	3
平成27年	14	6	8	14	0
平成28年	16	5	11	16	0
平成29年	19	9	10	18	1
平成30年(1～6月)	5	1	4	5	0
総計	326	108	218	303	23

図1 京都市の推定感染経路別の報告割合(昭和62年～平成30年6月)

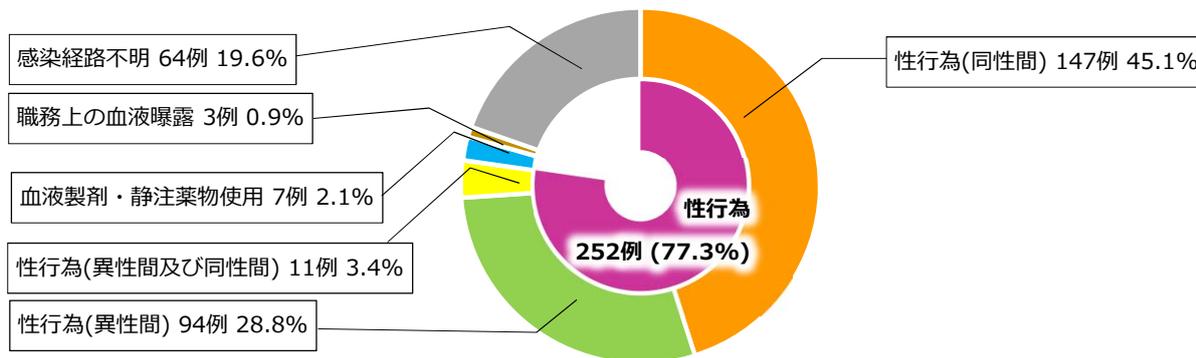
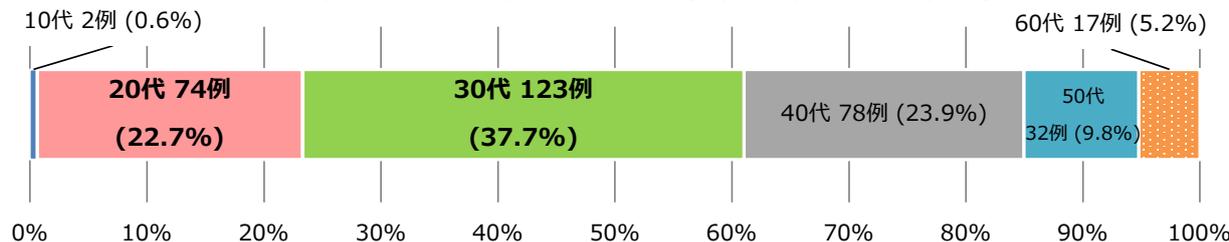


図2 京都市の診断時の年齢別累積報告数(昭和62年～平成30年6月)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第34週

疾病,行政区別報告数

平成30年8月20日～平成30年8月26日

データ入手日:平成30年8月29日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1						
上京	-	1	1	3	3	-	1	-	-	-	-	-	-						
左京	-	7	-	4	52	-	10	-	2	-	-	-	-						
中京	-	4	-	2	3	3	2	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1	-	-	8	-	1	-	1	-	-								
山科	1	10	-	2	2	1	1	-	3	3	1	-	2						
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-								
南	-	-	-	1	10	-	1	-	2	6	-								
右京	-	-	-	3	7	1	3	-	1	2	-	-	1						
伏見	-	5	3	5	36	4	15	-	2	9	1	-	-						
西京	-	5	-	3	14	2	-	-	2	1	-	-	-						
京都市計	1	34	4	23	137	11	34	-	14	25	2	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	-	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	1.00						
上京	-	0.33	0.33	1.00	1.00	-	0.33	-	-	-	-	-	-						
左京	-	1.75	-	1.00	13.00	-	2.50	-	0.50	-	-	-	-						
中京	-	1.33	-	0.67	1.00	1.00	0.67	-	0.33	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	0.50	-	-	4.00	-	0.50	-	0.50	-	-								
山科	0.14	2.00	-	0.40	0.40	0.20	0.20	-	0.60	0.60	0.20	-	2.00						
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	0.50	-								
南	-	-	-	0.33	3.33	-	0.33	-	0.67	2.00	-								
右京	-	-	-	0.60	1.40	0.20	0.60	-	0.20	0.40	-	-	1.00						
伏見	-	0.71	0.43	0.71	5.14	0.57	2.14	-	0.29	1.29	0.14	-	-						
西京	-	1.00	-	0.60	2.80	0.40	-	-	0.40	0.20	-	-	-						
京都市計	0.01	0.79	0.09	0.53	3.19	0.26	0.79	-	0.33	0.58	0.05	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第34週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年8月20日～平成30年8月26日

データ入手日:平成30年8月29日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	34	4	11	12	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		4	-	-	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		23	-	-	-	1	5	-	3	1	1	3	1	4	1	3	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		137	1	15	16	21	15	7	6	5	5	3	5	11	2	25	-	-	-	-	-	-	
水痘		11	-	1	-	1	1	3	3	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
手足口病		34	1	3	11	9	1	5	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		14	-	2	9	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		25	-	5	8	7	-	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.79	0.09	0.26	0.28	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.09	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.53	-	-	-	0.02	0.12	-	0.07	0.02	0.02	0.07	0.02	0.09	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		3.19	0.02	0.35	0.37	0.49	0.35	0.16	0.14	0.12	0.12	0.07	0.12	0.26	0.05	0.58	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.26	-	0.02	-	0.02	0.02	0.07	0.07	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.79	0.02	0.07	0.26	0.21	0.02	0.12	0.05	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.33	-	0.05	0.21	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.58	-	0.12	0.19	0.16	-	0.09	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第34週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年8月29日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	3	3	1	-	-	1
RSウイルス感染症	8	10	31	37	47	34
咽頭結膜熱	15	13	15	6	7	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	37	32	40	17	23
感染性胃腸炎	224	211	181	192	108	137
水痘	10	4	6	11	9	11
手足口病	112	126	108	73	32	34
伝染性紅斑	2	1	-	-	-	-
突発性発しん	17	11	24	20	7	14
ヘルパンギーナ	79	83	82	76	45	25
流行性耳下腺炎	5	2	2	2	-	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	7	8	3	1	4
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	523	508	490	460	273	289

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.04	0.04	0.01	-	-	0.01
RSウイルス感染症	0.19	0.23	0.72	0.86	1.09	0.79
咽頭結膜熱	0.35	0.30	0.35	0.14	0.16	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.05	0.86	0.74	0.93	0.40	0.53
感染性胃腸炎	5.21	4.91	4.21	4.47	2.51	3.19
水痘	0.23	0.09	0.14	0.26	0.21	0.26
手足口病	2.60	2.93	2.51	1.70	0.74	0.79
伝染性紅斑	0.05	0.02	-	-	-	-
突発性発しん	0.40	0.26	0.56	0.47	0.16	0.33
ヘルパンギーナ	1.84	1.93	1.91	1.77	1.05	0.58
流行性耳下腺炎	0.12	0.05	0.05	0.05	-	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	0.70	0.80	0.30	0.10	0.40
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	12.37	12.32	12.00	10.93	6.43	7.02

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。